

平成30年度第1回鶴岡市地域公共交通活性化協議会 (兼鶴岡市地域公共交通会議)

日時：平成30年6月25日(月) 午前10時30分から
会場：鶴岡市役所 6階大会議室

… 次 第 …

1 開 会

2 挨拶

3 報 告

(1) 平成29年度地域公共交通確保維持活性化の取組みについて

資料1

4 協議事項

(1) 平成31年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

資料2

(2) 地域公共交通網形成計画(平成28～32年度)における平成30年度事業について

資料3

(3) その他

5 その他

6 閉 会

鶴岡市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

敬称略

No.	所 属	役 職 名	協議会 役 職	氏 名	備 考
1	鶴岡市	副市長	会長	山口 朗	
2	庄内交通(株)	代表取締役 社長	副会長	村 紀明	
3	(一社)山形県バス協会	会長		伊藤 一郎	(代理出席) 専務理事 小関和夫
4	(一社)山形県ハイヤー協会	会長		石川 康夫	欠席
5	(一社)山形県ハイヤー協会 鶴岡支部	支部長		柿崎 裕	
6	鶴岡市町内会連合会	副会長		■■■■■	
7	鶴岡市自治振興会連絡協議会	加茂地区自 治振興会長	監事	■■■■■	
8	東北運輸局 山形運輸支局	支局長		伊藤 一哉	(代理出席) 首席運輸企 画専門官 會田 光
9	山形県交通運輸産業労働組合 協議会	庄内交通労働 組合執行委員		本間 一	(代理出席) 書記長 阿部亮哉
10	国土交通省東北地方整備局 酒田河川国道事務所	所長		赤城 尚弘	(代理出席) 鶴岡国道維持 出張所長 神成金弘
11	山形県庄内総合支庁 道路計画課	道路管理主 幹		佐藤 亨	(代理出席) 課長補佐 本間直樹
12	鶴岡警察署	署長		西塚 隆一	(代理出席) 交通規制係長 藤田和弘
13	山形県庄内総合支庁総務企画 部総務課連携支援室	室長		中村 秀毅	(代理出席) 室長補佐 高橋昌之
14	鶴岡商工会議所	会頭	監事	早坂 剛	(代理出席) 専務理事 加藤淳一
15	鶴岡市老人クラブ連合会	会長		■■■■■	
16	鶴岡市身体障害者福祉団体 連合会	会長		■■■■■	(代理出席) 副会長 原田久民
17	鶴岡市地域婦人会連合会	会長		■■■■■	
18	藤島町内会長連絡協議会	会長		■■■■■	
19	羽黒区長会	会長		■■■■■	
20	櫛引区長会	会長		■■■■■	
21	朝日地域自治会連絡協議会	会長		■■■■■	
22	温海地域自治会長会	会長		■■■■■	

事務局：鶴岡市	企画部	部長	高坂 信司	欠席
	企画部地域振興課	課長	鶴見美由紀	
	企画部地域振興課	主査	栗田 甚吉	
	企画部地域振興課	専門員	芳賀 俊郎	



鶴岡市の地域公共交通 確保維持活性化の取組み

資料1



鶴岡市地域公共交通活性化協議会兼地域公共交通会議資料
(H30.6.25)

山形県鶴岡市 企画部地域振興課



ユネスコ
食文化創造都市

鶴岡

UNESCO Creative City
of Gastronomy

1. 鶴岡市の概況

■ 市町村合併（平成17年10月新設合併）

鶴岡市・藤島町・羽黒町・櫛引町・朝日村・温海町

■ 人口と世帯数 ※住民基本台帳より（H30.3.31）

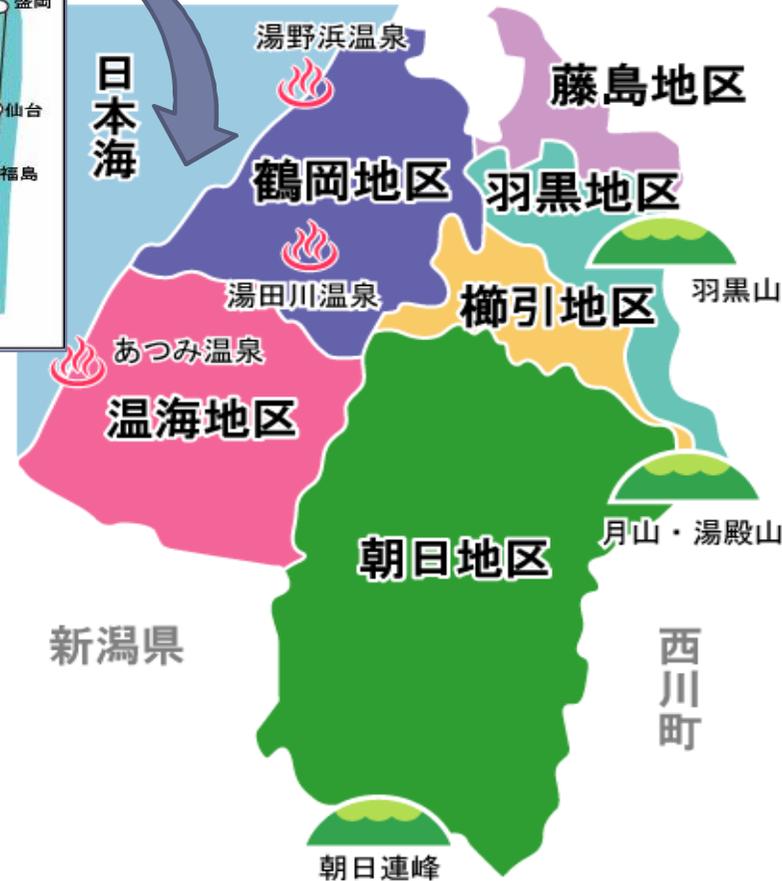
127,736人・48,569世帯 うち65歳以上：42,964人（33.1%）

■ 面積：1,311.53km² 東西43.1km・南北56.4km

■ 地勢と土地利用

北部：庄内平野 東南部：山岳丘陵地帯 西部：日本海

土地利用：田畑15%、山林61.1%、宅地2.4%



人口動態を捉え、需要の変化に対応した交通サービスの検討、路線の再編が必要。

※国勢調査及び社人研推計値より

2. 現状と課題 / 運行状況と利用状況

公共交通の運行状況 (H30.3)

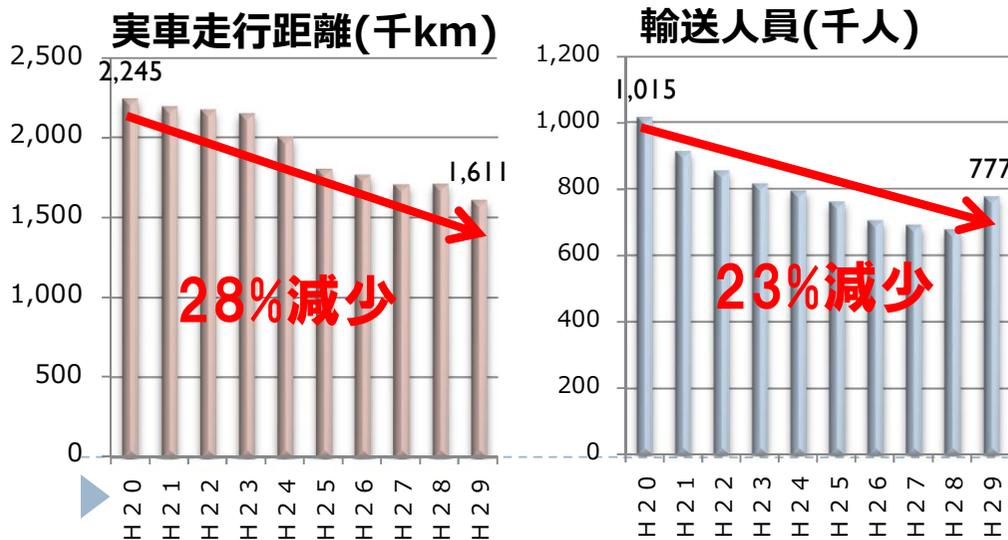
- 空路 : 庄内空港
- 鉄道 : JR東日本
- 路線バス : **1社 37路線**
- 市運営有償運送 : **5路線**
- タクシー : **12事業者**
- デマンド交通 : **2地区**
- その他 : 福祉有償運送(**3法人3組合**)
ぐるっとバス (観光バス) 等



黒字	2路線
国県補助	2路線
地域内フィーダー	18路線
市単独補助	15路線

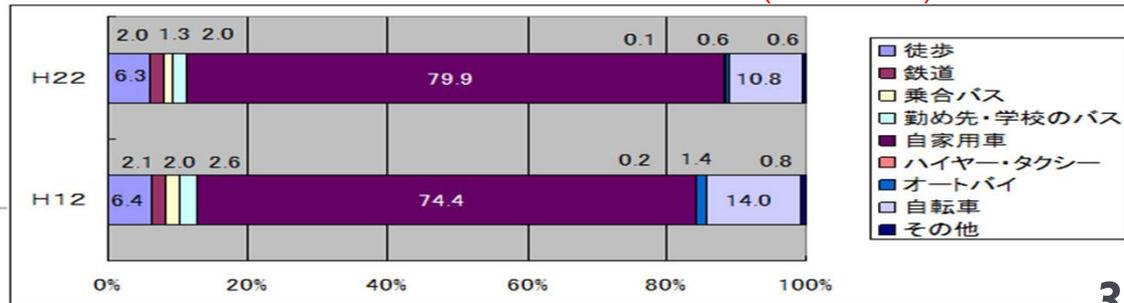


バスによる輸送人員と実車走行距離



利用交通手段の分担率 (国調)

「自家用車」への依存度が79.9%と5.5ポイント上昇(H12→H22)



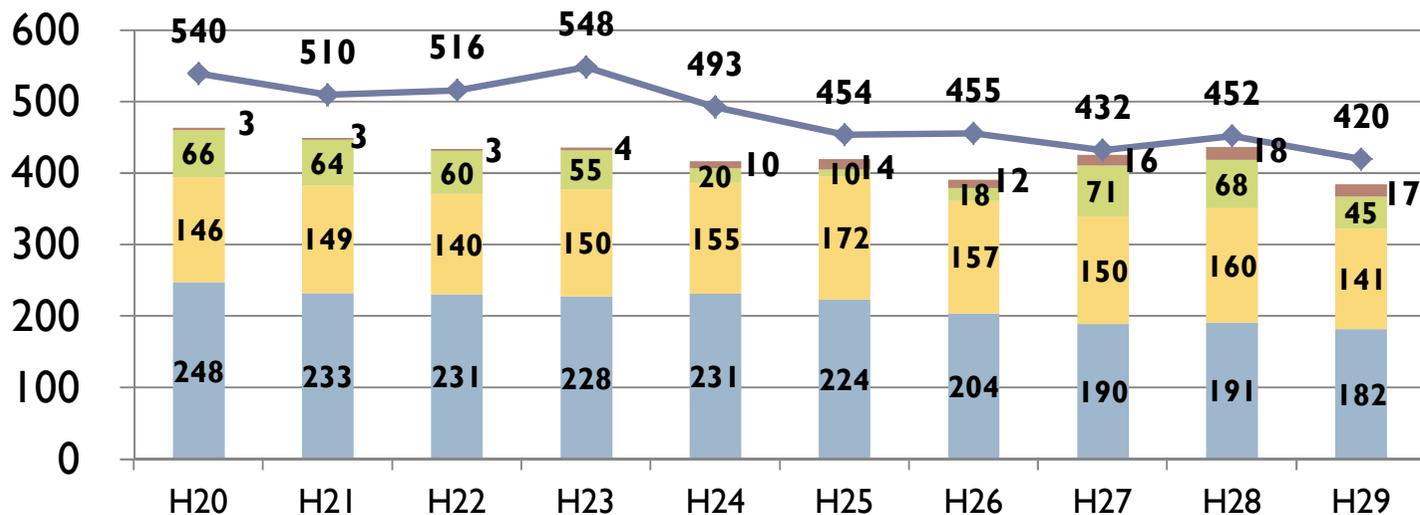
2. 現状と課題 / 路線バス運行補助金

補助金交付金額と財源 (単位：千円)



■ 県総合交付金
■ 市一般財源
■ 交付額計

運行経費と経常収益 + 補助金 (単位：百万円)



**補助を受けても事業者の
路線収支は赤字**

■ 他市町補助金 ■ 国県補助金
■ 市補助金 ■ 経常収益
◆ 経常費用



2. 現状と課題 / 乗合バス路線運行実績

H28.10～
H29.9

No.	運行者	許可	路線名	千口程 (km)	運行回数	実車走行距離 (km)	輸送人員 (人)	乗車密度	経常収益 (千円)	経常費用 (千円)	経常損益 (千円)	収支比率	公費負担				公費負担額 込みの損益 (千円)	備考
													国・県補助	県・市補助	他市町	計		
1	庄交	4	鶴岡～庄内空港(リムジン)	14.6	4.0	42,632.0	82,584	12.7	31,547	12,280	19,267	256.8%	-	-	-	19,267		
2	庄交	4	羽黒山頂(荒沢寺)月山	22.2	3.7	12,165.6	23,118	15.4	8,800	3,504	5,296	251.1%	-	-	-	5,296		
3	庄交	4	鶴岡(伊三川)酒田	38.6	7.3	208,330.6	110,536	2.3	21,859	60,008	▲ 38,149	36.4%	11,621	-	-	▲ 26,528		
4	庄交	4	鶴岡(ゆほか)羽黒山頂	24.1	6.8	121,533.6	78,237	2.8	18,962	35,007	▲ 16,045	54.1%	9,703	-	-	▲ 6,342		
5	庄交	4	鶴岡(ゆほか)羽黒	17.6	2.5	33,199.4	15,755	1.2	2,643	9,609	▲ 6,966	27.5%	-	6,965	-	▲ 1		
6	庄交	4	鶴岡(湯田川)越沢	34.3	1.3	33,053.0	16,400	1.7	2,954	9,566	▲ 6,612	30.8%	1,504	5,073	-	▲ 35		
6	庄交	4	鶴岡(湯田川)越沢	34.2	1.3	33,298.4	19,678	2.7	4,401	9,637	▲ 5,236	45.6%	1,192	4,007	-	▲ 37		
7	庄交	4	鶴岡(湯田川)越沢(こころの医療センター)	37.5	0.1	4,599.4	2,532	2.4	524	1,331	▲ 807	39.3%	-	807	-	0		
7	庄交	4	鶴岡(湯田川)越沢(こころの医療センター)	37.4	0.1	4,662.4	2,286	1.7	405	1,349	▲ 944	30.0%	-	944	-	0		
8	庄交	4	鶴岡(湯田川)坂の下	17.4	0.3	4,255.8	3,884	4.5	1,181	1,232	▲ 51	95.8%	-	51	-	0		
9	庄交	4	鶴岡(湯田川)坂の下(こころの医療センター)	20.6	0.6	10,159.8	5,436	1.8	1,087	2,940	▲ 1,853	36.9%	-	1,853	-	0		
10	庄交	4	鶴岡(稲生町)湯田川	9.9	3.0	21,784.8	16,464	2.7	4,500	6,305	▲ 1,805	71.3%	-	1,804	-	▲ 1		
11	庄交	4	鶴岡(稲生町)湯田川(こころの医療センター)	13.1	0.3	3,198.0	2,357	3.2	633	926	▲ 293	68.3%	-	292	-	▲ 1		
12	庄交	4	鶴岡(加茂水族館)湯の浜	20.3	4.2	63,053.9	45,768	3.1	12,175	18,249	▲ 6,074	66.7%	-	6,074	-	0		
13	庄交	4	鶴岡(物産館・加茂水族館)湯の浜	21.9	2.9	47,904.4	37,205	3.5	10,349	13,864	▲ 3,515	74.6%	-	3,515	-	0		
14	庄交	4	鶴岡(善宝寺)湯の浜	16.6	2.5	31,330.2	23,414	3.1	6,353	9,068	▲ 2,715	70.0%	-	2,714	-	▲ 1		
15	庄交	4	鶴岡(物産館・善宝寺)湯の浜	18.2	2.2	30,175.4	18,998	2.3	4,515	8,733	▲ 4,218	51.7%	-	4,218	-	0		
16	庄交	4	鶴岡(物産館・漁協前)温海	40.6	4.3	128,620.8	67,591	2.2	13,200	37,225	▲ 24,025	35.4%	-	-	-	24,025	0	
17	庄交	4	鶴岡～中央高校	1.3	0.5	540.8	258	1.8	43	157	▲ 114	27.3%	-	113	-	▲ 1		
18	庄交	4	鶴岡(山添)落合	18.2	2.3	31,244.0	17,930	1.9	3,889	9,043	▲ 5,154	43.0%	-	5,192	-	38		
19	庄交	4	酒田(日本海病院)湯野浜	29.1	6.0	64,129.2	29,281	1.3	4,586	18,560	▲ 13,974	24.7%	-	1,774	12,198	▲ 2	12.7%	
20	庄交	4	光陵高校(日本海病院)湯野浜	30.7	0.6	7,379.4	2,756	0.5	251	2,136	▲ 1,885	11.7%	-	228	1,656	▲ 1	12.1%	
21	庄交	4	鶴岡市内①②コース	13.7	2.0	20,221.2	10,444	1.1	1,993	5,023	▲ 3,030	39.6%	-	3,029	-	▲ 1		
22	庄交	4	鶴岡市内③④コース	17.0	2.0	25,092.0	12,035	1.2	2,055	6,232	▲ 4,177	32.9%	-	4,177	-	0		
23	庄交	旧21	鶴岡(藤島)清川	29.1	3.0	42,681.0	6,563	1.0	2,115	9,867	▲ 7,752	21.4%	-	4,953	2,798	▲ 1	63.9%	
24	あさひ	旧21	大鳥	40.1	4.0	47,979.4	8,588	1.0	2,130	12,166	▲ 10,036	17.5%	4,773	5,263	-	0		
24	あさひ	旧21	大鳥	39.1	1.0	9,709.2	11,736	2.1	929	2,462	▲ 1,533	37.7%	467	1,065	-	▲ 1		
25	あさひ	旧21	上田沢	31.4	5.0	55,858.6	9,127	0.8	2,211	14,164	▲ 11,953	15.6%	5,826	6,127	-	0		
25	あさひ	旧21	上田沢	30.4	0.5	3,769.6	5,799	2.1	380	956	▲ 576	39.7%	162	413	-	▲ 1		
26	あさひ	旧21	田麦俣	31.4	5.0	53,179.4	10,874	1.0	2,756	13,485	▲ 10,729	20.4%	4,895	5,833	-	▲ 1		
26	あさひ	旧21	田麦俣	30.6	1.0	8,387.0	5,467	1.4	562	2,127	▲ 1,565	26.4%	644	920	-	▲ 1		
27	あさひ	旧21	田麦俣	32.1	0.5	3,155.6	2,255	1.3	198	800	▲ 602	24.7%	255	346	-	▲ 1		
	あさひ	旧21	湯殿山	16.2	3.0	4,552.2	105	0.5	114	1,154	▲ 1,040	9.8%	-	488	-	▲ 552		
28	あさひ	旧21	上松根	19.2	4.0	37,829.4	5,322	1.0	1,789	9,592	▲ 7,803	18.6%	3,734	4,060	-	▲ 9		
	あさひ	旧21	朝日庁舎	5.7	1.5	2,086.2	321	0.5	89	529	▲ 440	16.8%	-	223	-	▲ 217		
29	あさひ	旧21	机	12.1	2.0	11,906.4	1,681	0.4	333	3,019	▲ 2,686	11.0%	-	1,278	-	▲ 1,408		
30	あさひ	旧21	机	14.6	1.5	10,799.4	37,638	4.6	2,609	2,738	▲ 129	95.2%	-	129	-	0		
31	あつみ	旧21	戸沢	20.9	4.0	42,803.2	4,204	0.7	1,468	10,854	▲ 9,386	13.5%	-	4,796	-	▲ 4,590		
32	あつみ	旧21	戸沢温海川	29.9	0.5	3,707.6	607	0.7	134	940	▲ 806	14.2%	-	415	-	▲ 391		
33	あつみ	旧21	平沢	23.8	4.5	77,921.2	10,527	0.8	2,898	19,758	▲ 16,860	14.6%	-	8,731	-	▲ 8,129		
34	あつみ	旧21	関川	26.6	5.5	93,540.6	4,043	0.4	1,719	23,719	▲ 22,000	7.2%	-	-	-	▲ 11,518		
35	あつみ	旧21	越沢	22.8	1.5	24,587.6	1,051	0.4	470	6,235	▲ 5,765	7.5%	-	2,755	-	▲ 3,010		
36	あつみ	旧21	温海川	13.7	1.5	9,372.2	634	0.2	101	2,377	▲ 2,276	4.2%	-	1,050	-	▲ 1,226		
37	あつみ	旧21	越沢・関川	3.8	1.0	2,751.2	9	0.1	18	698	▲ 680	2.6%	-	308	-	▲ 372		
						1,529,141	771,498		181,928	419,624	▲ 237,696	43.4%	44,776	136,490	16,652	197,918	▲ 39,778	

高齢者いきいき 4,500

鶴岡市負担合計 140,990

2. 現状と課題 / 運転手の状況

運転手実態調査

- 調査期間 平成28年3月
- 対象
路線バス・スクールバス運行10社

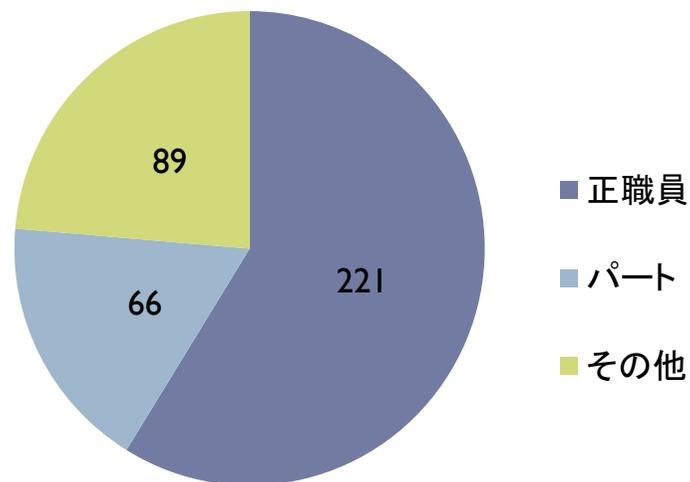
項目	全運転手	うちスクールバス運転手
運転手の人数	376人	88人
うち二種免許取得者	348人	72人

二種免許取得及び運転手確保対策

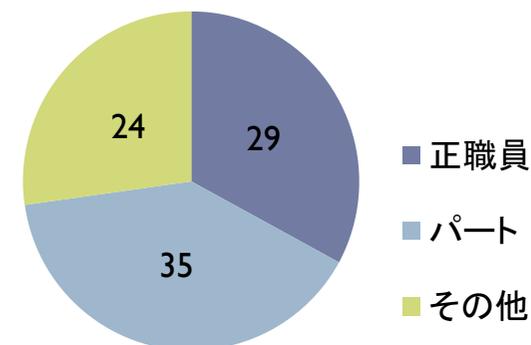
- ❑ 免許証取得助成制度あり(3社)
- ❑ 求人(ハローワーク)
- ❑ 免許取得助成(県バス協会)

雇用形態別人数(単位:人)

雇用形態別人数(総数)

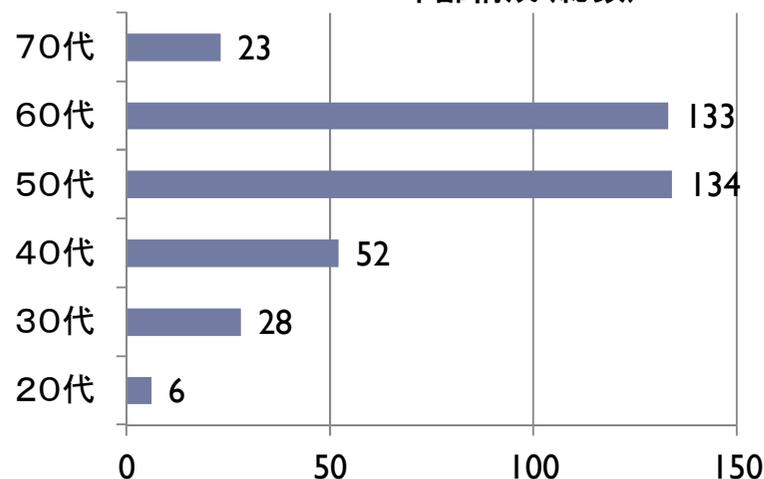


うちスクールバス運転手の雇用形態別人数

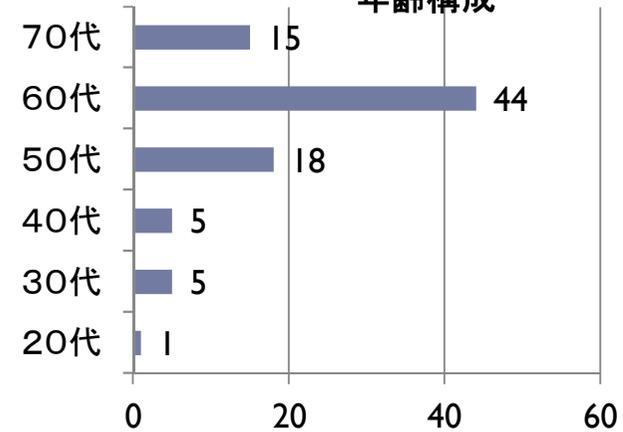


運転手の年齢構成(単位:人)

年齢構成(総数)

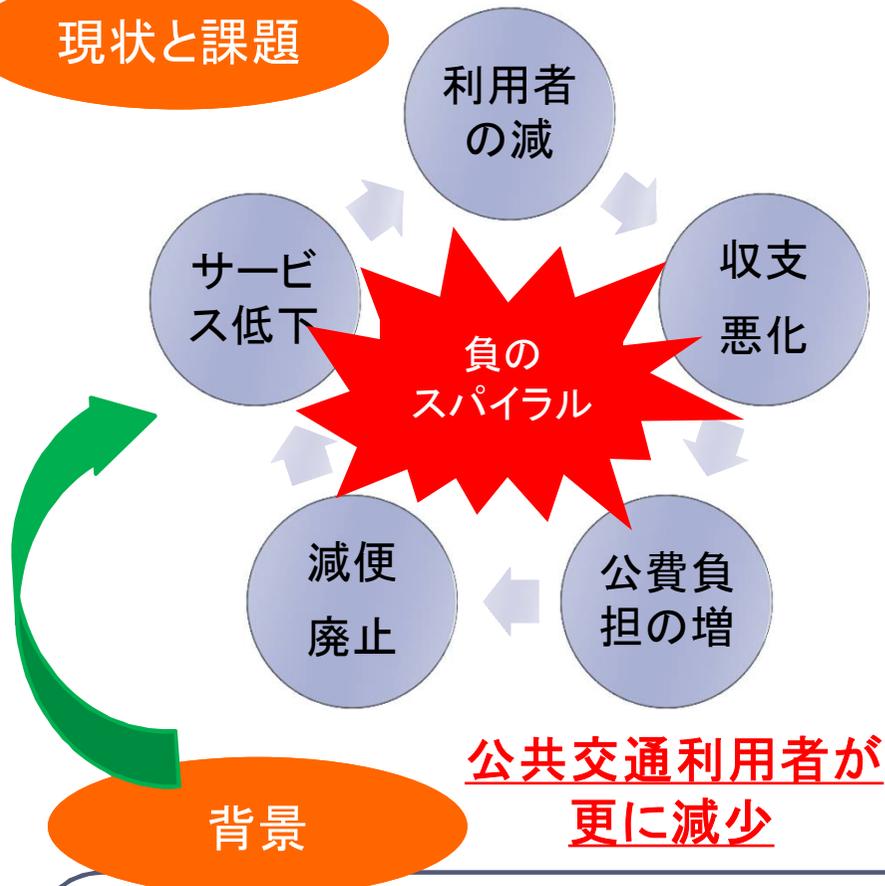


うちスクールバス運転手の年齢構成



2. 現状と課題 / 整理

現状と課題



公共交通利用者が
更に減少

鶴岡市の公共交通を取り巻く課題

公共交通を取り巻く8つの課題

- 課題1：まちづくりと連動した公共交通網の形成が必要
- 課題2：市内に分散する拠点を繋ぐネットワークの構築が必要
- 課題3：需要の変化に対応した交通サービス提供・路線再編が必要
- 課題4：市民協働による持続的な公共交通体系の確保が必要
- 課題5：隣接市町と連携した公共交通への取り組みが必要
- 課題6：交通拠点へのネットワーク構築及び格差の向上が必要
- 課題7：既存路線の維持・利用促進に向けた取り組みが必要
- 課題8：高齢者・障害者に対する対応が必要

- 高い自家用車依存
- 人口減少・過疎化の進展
- 小中学校統廃合に伴うスクールバス利用の増加
- 運転手の不足・バス車両の老朽化
- 運賃の割高感や運行経路、便数、時間に対するニーズの変化



3. 鶴岡市地域公共交通網形成計画 (H28-32)

■ 本計画の基本方針 (目指す将来像) 「人」「文化」がいいきと交流し、市民とともに支える「持続可能な公共交通」の実現
 ~将来の「鶴岡市」のあり方を見据え、コンパクト+ネットワークを形成~

基本目標

「基本目標 1」
市民のお出かけを支える、「持続可能」な公共交通体系を確保します

【指標 1】市内バス路線の平均乗車密度

【指標 2】路線バスの財政負担割合

「基本目標 2」
将来のまちの姿を見据え、「まちづくり」を支援する公共交通を目指します

【指標 1】中心市街地でのバス乗降者数

【指標 2】公共交通利用による外出率

「基本目標 3」
人・文化の「交流」を支援する交通ネットワークを形成します

【指標 1】交通機関同士の接続性に対する不満度の減少

「基本目標 4」
市民とともに考え、築き、育む、「協働型」の公共交通を目指します

【指標 1】地域における協議会・検討会の設置数

【指標 2】公共交通による通勤・通学者の割合

「基本目標 5」
誰もが「わかりやすく・利用しやすい」交通環境づくりを行います

【指標 1】公共交通利用促進策の取り組み件数

【指標 2】公共交通利用による外出率(再掲)

目標達成のためのプロジェクト

1. 交流活性化プロジェクト

➢ 施策 1-1: 既存路線の見直しによる再編

- ① わがやバス路線網の見直し(主要拠点間のネットワーク構築)
- ② 低利用・不採算路線の効率化

➢ 施策 1-2: 新たな公共交通システムの導入

- ① 観光対応路線の導入検討(交通不便地域への交通システム導入検討)
- ② 通勤通学対応路線の導入検討

➢ 施策 1-3: 既存交通資源を活用した再編

- ① タクシーの活用 ② スクールバスの間合い利用
- ③ 観光バスの見直し ④ 民間バスの活用

➢ 施策 1-4: 交通結節機能の充実

- ① 小さな拠点の整備 ② 交通機関同士の接続性向上

➢ 施策 1-5: 運賃等の料金制度の見直し

- ① 料金上限制度の検討 ② 定額制運賃の検討

2. 市民協働プロジェクト

➢ 施策 2-1: 地域主体の交通サービスの導入

- ① 地域主体の交通サービス導入 ② 地域での公共交通維持体制の構築
- ③ 地域との意見交換会の開催

➢ 施策 2-2: 多くの機関と連動したサービス展開

- ① 商業施設・商店街・企業とのタイアップサービスの展開
- ② 新たなタイアップの可能性検討

➢ 施策 2-3: 公共交通について議論する場の創出

- ① 地域公共交通活性化協議会の開催 ② 地域公共交通シンポジウムの開催
- ③ 高校生・企業とのワークショップ・意見交換会の開催

3. 環境改善・利用促進プロジェクト

➢ 施策 3-1: 交通環境の改善

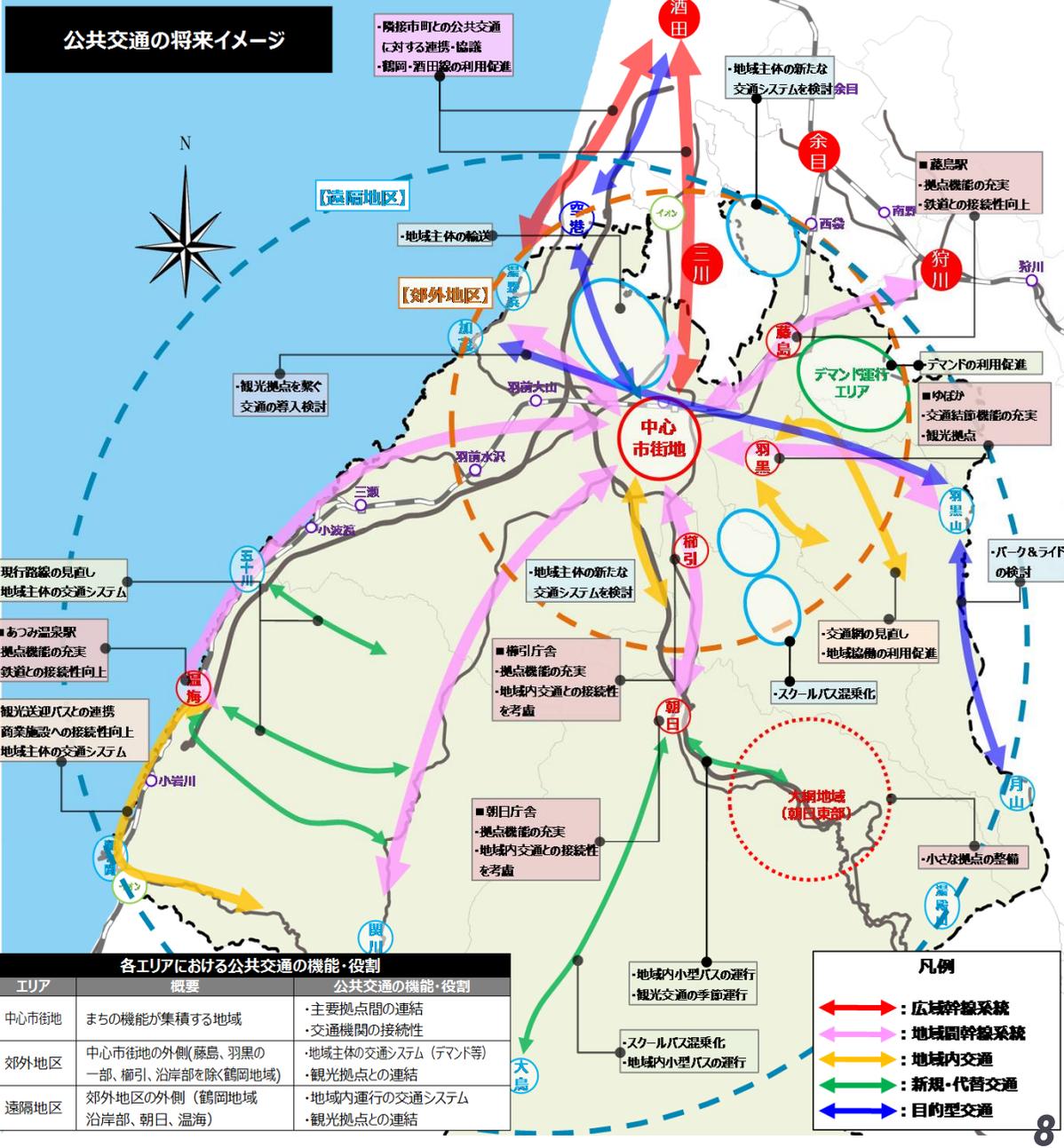
- ① 高齢者向けの低床車両の導入 ② バス路線のナンバー化
- ③ 地域独自の車両デザイン(待合環境の改善・整備)

➢ 施策 3-2: 交通案内の改善・充実

- ① 鉄道・路線バスの一体化時刻表作成 ② わがやバスマップ作成
- ③ 乗り継ぎ・運賃の案内充実 ④ バスローションシステムの導入
- ⑤ インターネットを活用した案内充実

➢ 施策 3-3: 公共交通に対する市民意識の醸成

- ① Eビリティマネジメントの実施



4. 取組み事例/みんなで考えよう“地域の足を”

…地域公共交通シンポジウム《H26.9.20開催》⇒ 地域単位の利用促進へ…



地域の“足”をみんなで考え、元気にしよう！

鶴岡市地域公共交通シンポジウム

参加無料
申込期限 9月11日(木)

平成 26年 9/20 土

会場 鶴岡市先端研究産業支援センター「レクチャーホール」

対象者 定員：150名
地域公共交通に関わる方、興味のある方。
(市民、地域、交通事業者、行政関係等)

～プログラム～ ■開場：13:00 ■シンポジウム：13:30～17:00

13:30 主催者挨拶
13:35 鶴岡市の地域公共交通に対する取組みの歴史
14:00 基調講演
地域公共交通の拠点
～みんなでつくる公共交通～
NPO法人
いわて地域づくり支援センター
事務理事 若菜千穂 氏

15:00 先進地事例発表
地域の快活な暮らしを支える交通の確保
～「いがた交通戦略プラン」～
新潟市 都市交通戦略課

15:30 トークセッション
地域の足を守るために、地域、事業者、行政の役割とは
◎コーディネーター
岩手県立大学 総合政策学専攻 教授 元田啓孝 氏
◎モデレーター
NPO法人いわて地域づくり支援センター 事務理事 若菜千穂 氏
◎パネリスト
新潟市都市交通戦略課 / 福島県東部地区デマンド交通推進協議会代表 長瀬 潤 氏 / 新潟市地域公共交通協議会代表 佐藤 隆 氏 / 新潟市交通戦略課 六浦 隆 氏 / 新潟市交通戦略課 佐藤 隆 氏

主催 鶴岡市・鶴岡市地域公共交通活性化協議会

～地域の“足”をみんなで考え、元気にしよう！～

市民、地域、婦人、高齢者団体、交通事業者、行政機関、産業団体など、120名が参加。若菜千穂氏の基調講演をはじめ、先進地事例発表、トークセッションなど通じて、地域公共交通の現状と課題を共有し、今後のあり方を考えた。

今後の地域公共交通の活性化のためには、**市民、地域、事業者、行政など地域ぐるみの連携と実践の必要性**を呼びかけた。

地域ごとの
取組みへ

地域の環境、特性、ニーズにあった“地域の足”を確保維持し、利用促進活動を実践していくために、地域単位の利用促進協議会（仮称）の組織化を進める。

(写真は温海地域公共交通検討会)



4. 取組み事例/あったら楽しいな♪ こんなバス!

平成29年度 第4回小学生「バスの絵」コンテスト



鶴岡市長賞



「バスの絵」コンテスト応募件数

年度	学校数	応募作品点数
H26	27校	207点
H27	31校	467点
H28	26校	431点
H29	26校	385点

「バスの絵コンテスト」を開催。

市内26の小学校から385点の“夢のあるバスの絵”が寄せられ、Sモールはじめ各地域で展示することにより、バスへの関心を高めることができた。

「バス絵プリント」 路線バスの運行

路線バスの車体に入賞作品をプリントして1年間運行。子どもたちの夢あふれるバスの絵が乗客や市民を和ませている。



バス時刻表 にも掲載。



4. 取り組み事例/バスの乗り方教室・お試し体験

「知ってもらおう！乗ってみよう！」

バスの乗り方を体験！

庄内交通では、身近な乗物でありながら意外と知られていない路線バスを、安全・安心に利用していただくために、保育園、小中高校生等を対象に「バスの乗り方教室」や「お試し体験バス」を開催しました。



《庄内交通/バスの乗り方教室開催状況 一覧》 平成29年度

No.	実施日付	学校名	人数	講習内容
1	H29.6.9(金)	鶴岡中央高等学校	28	車椅子を使用した乗車体験
2	H29.6.13(火)	朝暘第六小学校	55	内容(乗り方:整理券とって～)、マナー、安全指導
3	H29.6.14(水)	朝暘第六小学校	54	内容(乗り方:整理券とって～)、マナー、安全指導
4	H29.7.31(月)	上郷コミュニティセンター(幼・小・老)	59	内容(乗り方:整理券とって～)、マナー、安全指導
5	H29.9.23(土)	エスモール・バスの日イベント	66	内容(乗り方:整理券とって～)、マナー、安全指導
6	H29.10.19(木)	あさひ小学校	31	内容(乗り方:整理券とって～)、マナー、安全指導

《庄内交通/お試し体験バス開催状況 一覧》 平成29年度

No.	実施日付	団体名	人数	行程
1	H30.2.14(水)	木野俣自治会	17	木野俣→エスモール→観光物産館→あつみ温泉駅→木野俣の乗車体験と鶴岡営業所にて乗り方説明及び構内案内等

4. 取組み事例 / 市民協働の取組み①

藤島東栄地区デマンド交通

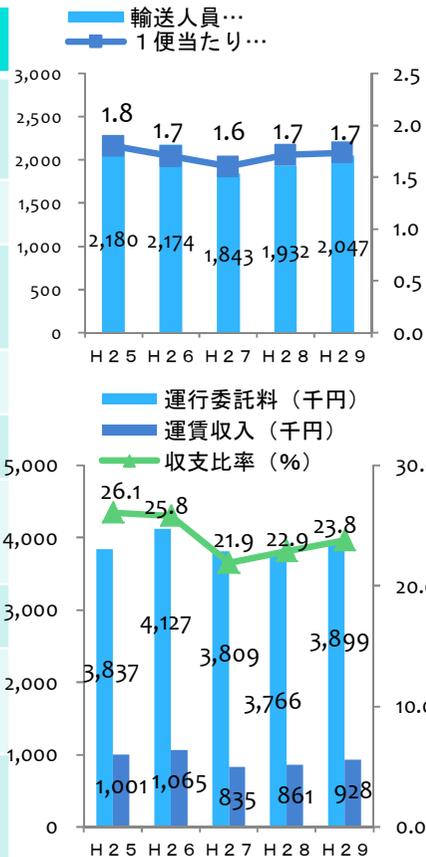
藤島地域では、地域の足を自ら創り守ることを目的とし、藤島東栄地区デマンド交通等を導入・運行しています。



ふれあい号

> 運行概要

運行主体	藤島東栄地区デマンド交通運営協議会
運行形態	一般乗合旅客自動車運送(4条)
車両	受託事業者のタクシー 愛称「ふれあい号」
運行回数	月～土曜日・1日3便
地域負担	200円/世帯 (H29:593世帯)
利用料金	地域内400円、市街地800円 (小学生等半額)
運行経緯	H21.1～路線バス廃止代替
協議会設立	H20.5 地区が主体となり設立
主な取組 (H29)	・冬期間の高校生通学利用促進 ・潜在需要の掘り起し



西郷地区ボランティア輸送活動

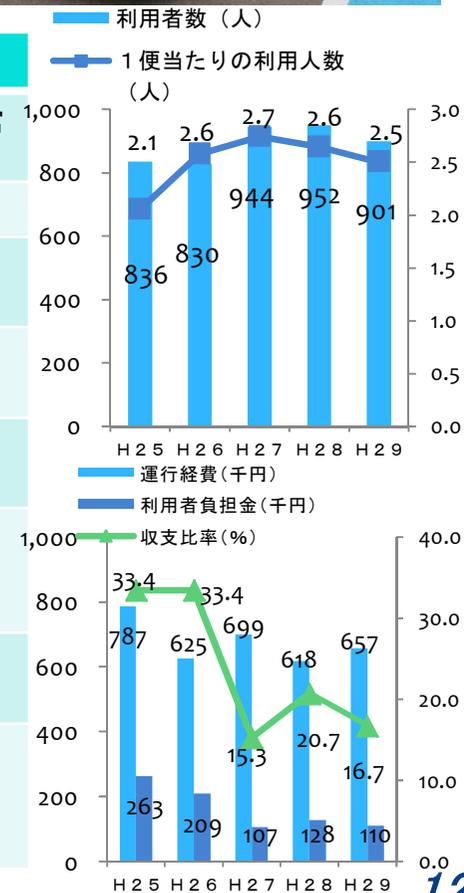
西郷地域では、路線バス廃止代替として、移動手段の無い高齢者を対象に、地域主体の輸送活動を実施しています。



西郷ボランティア輸送

> 運行概要

運行主体	西郷地区ボランティア輸送活動運営協議会
運行形態	地域主体のボランティア輸送
車両	5人乗り普通乗用車 (自治会調達)
運行回数	火、水、金曜日曜日 1日3便(行き1便、帰り2便)
利用料金	地域内100円 市街地200円
運行経緯	H18.9末「鶴岡・浜中線」廃止 H24.3～実証運行開始 H27.4～本格運行
協議会設立	H24.3 西郷自治会が主体となり 協議会と運行委員会を設立
主な取組 (H29)	・ボランティアドライバーの募集 ・適正な運行管理体制と車両点検の励行、安全運転講習の受講



4. 取組み事例 / 市民協働の取組み②

羽黒地域市営バス

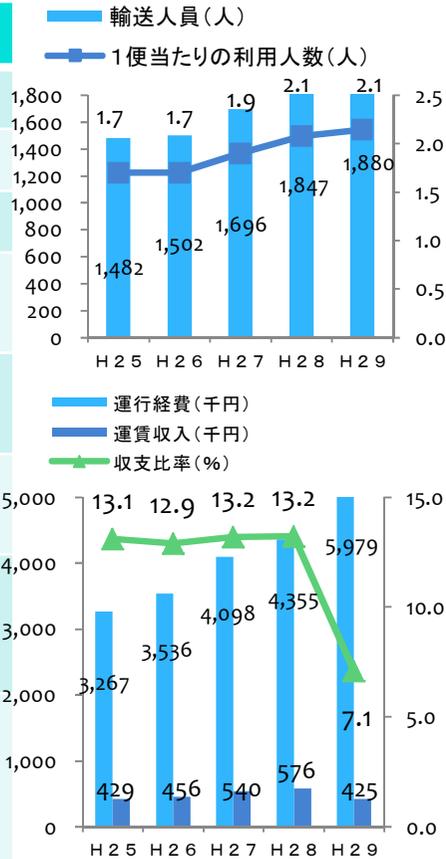
羽黒地域では、地域内を運行する市営バスの維持を目的に、沿線地域が主体となり利用拡大協議会を設立しています。



にこにこバス

▶ 運行概要

運行主体	鶴岡市
運行形態	市町村運営有償運送(79条)
車 両	15人乗り・愛称「にこにこバス」
運行回数	2路線を隔日運行 週3日・1日3便
利用料金	100円～500円 (小学生等半額)
運行経緯	S58～路線バス廃止代替1路線 H19～同様に1路線追加
協議会 設立	H24.12 沿線地域が主体となり羽黒地域市営バス利用拡大協議会を設立
主な取組 (H29)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカード発行 (温泉施設とタイアップ) ・定期的な利用状況お知らせ ・経路検討、アンケート調査実施等



朝日地域市営バス

朝日地域では、路線バスの短縮に伴い平成29年4月から市営バスを運行し、地域の移動手段を確保するため、地域住民が主体となり利用拡大協議会を設立しています。



▶ 運行概要

運行主体	鶴岡市
運行形態	市町村運営有償運送(79条)
車 両	10人乗り、12人乗り
運行回数	2路線を運行 月～金・1日2便
利用料金	100円～500円 (小学生等半額)
運行経緯	H29年4月～路線バス4路線の縮減に伴い、市営バス「大鳥線」「田麦俣線」運行
協議会 設立	H29.8 沿線地域が主体となり朝日地域市営バス利用拡大協議会を設立
主な取組 (H29)	<ul style="list-style-type: none"> ・運行経路とダイヤの見直し (1便を温泉施設経由に) ・冬期間待合場所確保 ・アンケート調査実施等

H29年度 朝日市営バス運行実績

項目	大鳥線	田麦俣線	合計
運行日数 (日)	245	245	490
運行便数 (便)	490	490	980
走行距離 (km)	12,281	8,409	20,690
輸送人員 (人)	1,774	1,280	3,054
運賃収入 (千円)	484	202	686

運行経費 (千円)	運行委託料	その他経費	合計
	5,179	1,496	6,675

項目	大鳥線	田麦俣線	合計
1便当たりの利用人数 (人)	3.6	2.6	3.1

項目	全体
1人当たりの経費 (円)	2,186

項目	全体
収支比率 (%)	10.3

4. 取組み事例 / 市民協働の取組み③

櫛引地区宝谷・たらのき代スクールバス（混乗）

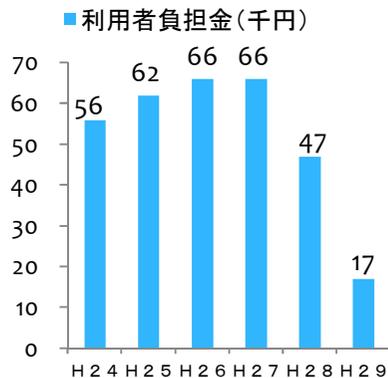
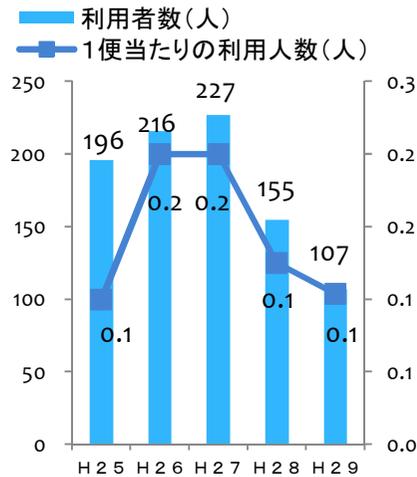
櫛引地域では、中学校のスクールバスを有効活用し、地域住民も利用できる「混乗」方式を導入・運行しています。



スクールバス混乗

> 運行概要

運行主体	鶴岡市
運行形態	市町村運営有償運送(79条)
車両	スクールバス(市有車)
運行回数	月～金曜日・3便 ※利用者の少ない平日1便と土・日・祝日の運行廃止(H30.4～) ※夏季休業期間は平日4便
利用料金	180円～320円 (小学生等半額)
運行経緯	H52.4末「宝谷線」廃止 H52.5～スクールバスの混乗開始 H58.3末「たらのき代線」廃止 H58.4～「宝谷・たらのき代線」としてS B混乗運行
主な取組(H29)	・区長会を通じて現状報告、利用呼びかけ ・路線上の地区への時刻表の配布



5. 利用拡大の取組み/①割引定期券の販売状況

高齢者いきいきパス

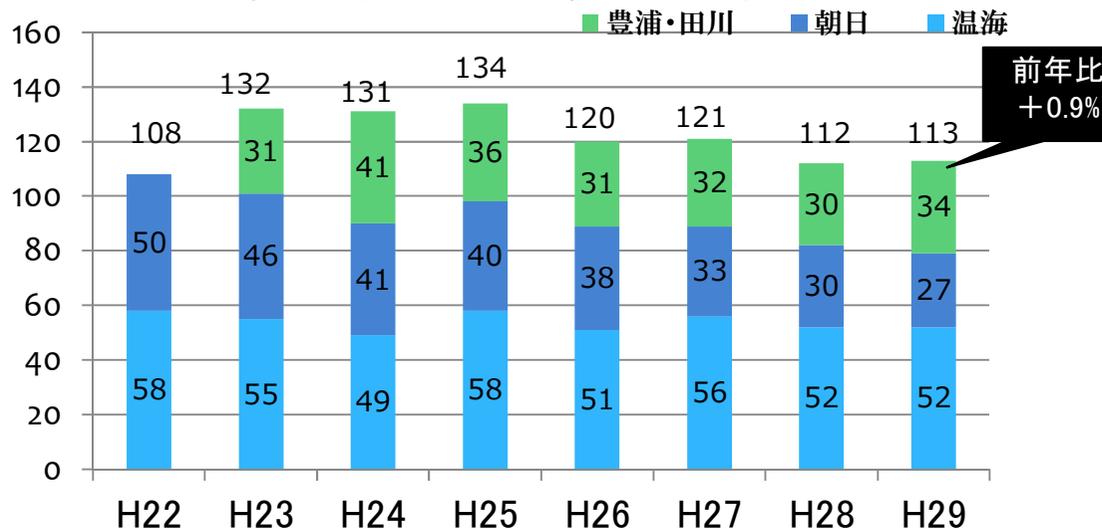
- 対象：朝日、温海及び田川、豊浦地域在住の70歳以上
- 内容：8万円の路線限定のフリーパス券（5万円を市が補助）
- 予算：補助金5万円×90枚＝450万円（上限）

ゴールドパス

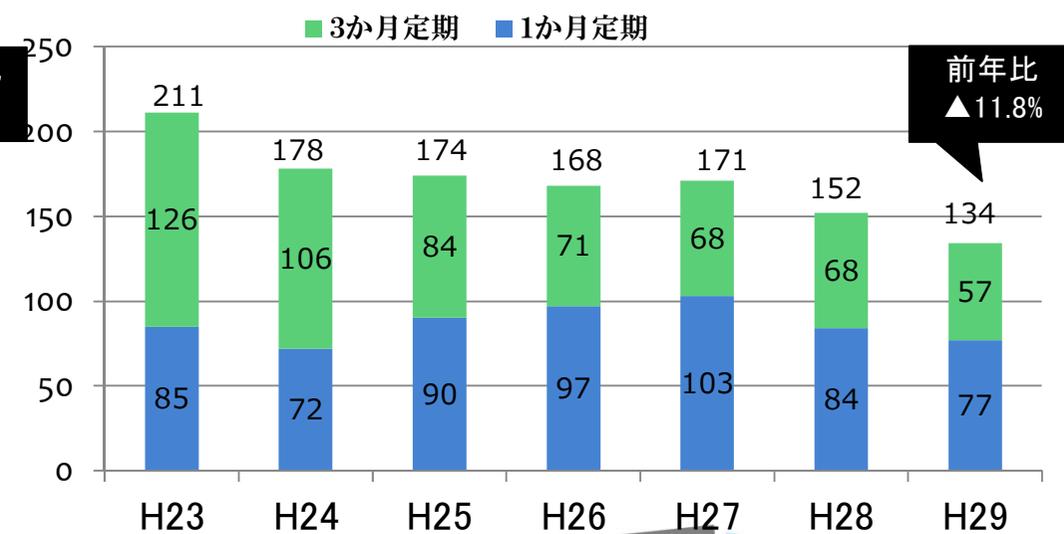
- 対象：市内在住の70歳以上
- 内容：フリーパス券1か月：10,000円/3か月：27,000円
※ただし、一部除外される路線あり。

※平成30年4月から市の補助制度開始（別途資料）

高齢者いきいきパス発行枚数



鶴岡地域ゴールドパス発行枚数



割引サービスの周知

バス運賃の負担を軽減を目的とした「高齢者いきいきパス」や「各種割引定期」などについて、チラシを作成して広く周知を図っている。



5. 利用拡大の取組み/②交通事業者

…分かりやすく安心して利用できる運賃負担の軽減…

庄内交通

県ハイヤー協会
鶴岡支部14社

分かりにくい？運賃もこれなら簡単！

つるおか1日乗り放題券

県内にも、買い場にも 必須★

鶴岡市内、1日乗り放題のバス乗車券が遂に発売開始。コースはA・B・Cの3種類。窓口だけでなく、バス車内でも購入できます。バスに乗ってゆっくり出かけてみませんか。

A 鶴岡市街地コース …… 1日乗り放題 **500円**
B 湯野浜・湯田川コース …… 1日乗り放題 **1,000円**
C 鶴岡全域コース …… 1日乗り放題 **2,000円**

◇バス乗車券発売場所◇
 ・野社窓口
 ・鶴岡市内運行の路線バス車内

◇1日乗り放題の区域◇

◇バス乗車券見本◇

つるおか1日乗り放題券
 A 500円コース 大人500円 小人250円
 B 1000円コース 大人1000円 小人500円
 C 2000円コース 大人2000円 小人1000円

年 2017 2018 2019
 月 1 2 3 4 5 6
 日 7 8 9 10 11 12
 1 2 3 4 5 6
 7 8 9 10 11 12
 13 14 15 16 17 18
 19 20 21 22 23 24
 25 26 27 28 29 30 31

…ご利用方法…
 ＊ご利用になる日の「年・月・日」の数字を各1箇所ずつ、黄色の枠内へ使い○で囲んでください。
 (例) 2018年1月25日ご利用の場合
 ＊簡章と照合し、乗務員へは必ずお伝えください。

…注意…
 「年・月・日」それぞれを2つ以上塗りつぶした場合、この券は無効となります。
 使用も払戻もできませんので、ご注意ください。

田内交通株式会社 本社 / 山形県鶴岡市錦町4番35号 TEL (0235) 22-2600

少安心お得な1日乗車券：平成29年平成29年9月23日～

★優待★

学生100円バス

中学生・高校生・大学生のみなさん、雨の日・雪の日・荷物が重い日はありませんか？ そんなときは、ゆっくり路線バスに乗ってみませんか？ 暑い日・寒い日は、冷房や暖房がきいて快適☆試験勉強で眠いときは、ゆっくりバスで休みながら通学もいいのでは？ ☆通学以外でもOKです。☆休みの日にお友達とおしゃべりしながら出かけるのはいかがでしょうか？ そんな方のために、**学生100円バス**を始めました。

◆利用方法は簡単です。
 在学中の学校で発行された **写真付きの学生証** を降車時、運転士に見せるだけ。下記 **100円で乗れる範囲** であれば **1回100円** でご乗車になります。皆さん、バスを利用してみませんか？

★平成30年2月15日より実施開始★

中学生・高校生・大学生 100円で乗れる範囲

中央高校、茅渚、エスマール(バスターミナル)、鶴岡駅前、大玉寺、山王町、本町川端通り、内川通り、銀座通り、日市通り、南銀座、小真木(運動公園前)、サウスモールみな、日光町、鶴岡市、中央公民館、致道博物館、鶴岡市役所前、庄内観光自動車、ウエストモール、鶴岡市内通り①～④ 全線

※この区域外で乗り降りされた場合、通常のバス運賃となります。
 ※現金のみの割引です。更なる割引(障害者割引等)はございません。
 ※この区域で定期券をお求めの場合は、通常運賃換算での発券となります。

バス時刻等は こちらから □□□ お問い合わせ □□□ 庄内交通株式会社 0235-22-2600 (代)

中学、高校、大学生100円バス 平成30年2月15日～

運転免許を自主返納された方等への タクシー料金割引

平成29年12月1日より、運転免許自主返納者及び65歳以上の方に対し、鶴岡市内で営業しております下記のタクシー会社において、運賃の割引を受けることが可能になりました。

- ・(株)ハイヤーセンター 22-5155
- ・出羽ハイヤー(株) 22-1981
- ・大和交通(株) 22-7733
- ・庄交ハイヤー(株) 22-0055
- ・羽黒タクシー(株) 62-4600
- ・(有)立川タクシー (0234)56-2128
- ・落合自動車(有) 53-2121
- ・ハーティタクシー (0234)43-4820
- ・余目タクシー(有) (0234)43-2411
- ・湯野浜観光エアポートタクシー(有) 75-2321
- ・八乙女観光自動車(株) 73-3200
- ・温海温泉観光自動車(株) 43-2330
- ・庄内タクシー(株) 43-3822
- ・(資)湯田川温泉自動車 35-2177

運賃が1割引になります！

割引を受けるに当たり、タクシー内で
 ・申請による運転免許の取消通知書または運転経歴証明書
 ・健康保険証など(65歳以上の方)のいずれかを提示する必要があります。
 また、タクシー会社で発行する、「身分証」(申し込み必要)を作成すれば、「身分証」の提示で割引引きを受けられます。

◆詳しく知りたい方は、各タクシー会社へお問い合わせ下さい。

鶴岡警察署 交通課 安全係

運転免許返納者又は65歳以上の方対象 平成29年12月1日～

5. 利用拡大の取組み/③観光二次交通を充実

旅行者向け観光二次交通を充実。
観光しゃとる・ぐるっとバス、予約制観光ハイヤーを運行。

鶴岡駅発着 予約制観光ハイヤー

国宝羽黒山五重塔・三神合祭殿と湯殿山参拝

運行期間 平成29年 6月1日～11月3日

JR鶴岡駅 随神門 国宝五重塔 (約40分) 随神門

三神合祭殿 (約40分) 湯殿山参拝 (約70分) JR鶴岡駅 所要時間 約1時間30分

料金 (1台あたり)

- 小型ハイヤー 15,900円
- ジャンボハイヤー 21,000円

予約受付 Tel.0235(22)0055

少人数なら料金もお得で安心

鶴岡観光しゃとるバス 羽黒山・湯殿山 運行マップ

このマップは、鶴岡駅から羽黒山五重塔と湯殿山参拝までの主要観光地を結ぶルートを示しています。Aゾーン、Bゾーン、Cゾーンと区別され、各観光地へのアクセスが容易に示されています。

期間限定土日祝日運行・観光ガイド付き

鶴岡観光ぐるっとバス 運行日 4月29日から10月23日までの土・日・月・祝日

乗降場所	1便	2便	3便	4便	5便
①鶴岡駅前(4番のりば)	9:00	11:00	13:00	15:00	16:50
②甲斐堂	9:05	11:05	13:05	15:05	—
③灌漑博物館	9:08	11:08	13:08	15:08	—
④数道博物館正面	9:09	11:09	13:09	15:09	16:57
⑤庄内観光産産館	9:16	11:16	13:16	15:16	17:04
⑥安良町(あらま)公民館	9:26	11:26	13:26	15:26	—
⑦加茂水族館(※前内側)	9:38	11:38	13:38	15:38	17:27
⑧湯野丸温泉	9:48	—	—	—	17:37
⑨加茂水族館(※後内側)	10:00	12:00	14:00	16:00	—
⑩大山郵便局前	10:10	12:10	14:10	16:10	—
⑪庄内観光産産館	10:20	12:20	14:20	16:20	—
⑫数道博物館正面	10:27	12:27	14:27	16:27	—
⑬鶴岡観光プラザ・HOUSE清川屋	10:29	12:29	14:29	16:29	—
⑭山王通り(湯野丸ろくろ心でがんず)	10:32	12:32	14:32	16:32	—
⑮鶴岡駅前(4番のりば)	10:37	12:37	14:37	16:37	18:05

料金表

乗降場所	Aゾーン(平日のみ有効)	Aゾーン(土日祝日)	加茂水族館	湯野丸温泉
庄内観光産産館	300円	1,000円	1,000円	1,000円
安良町公民館(大山郵便局前)	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
加茂水族館	1,000円	1,000円	200円	200円
湯野丸温泉	1,000円	1,000円	200円	200円

期間限定・市内・水族館・温泉周遊

馬から観るマツル鶴岡

歴史と文化の町・鶴岡市街地選択コース

2時間 6,300円

クラゲ展示種類数世界一の水族館コース

2時間 6,300円

国宝羽黒山五重塔と「いでは文化記念館」コース

2時間 6,300円

国宝羽黒山五重塔・羽黒山三神合祭殿コース

2時間 9,400円

JR東日本の観光タクシーも充実

バスマップ・観光ルート別時刻表



路線バスや市バスのバスマップの作成配布や、観光地を経由する主なバス路線について、観光地の写真付きで経路図(バス停留所)や時刻を掲載し、観光者にも分かりやすい案内チラシを作成。バス案内所や車内、観光施設に配置している。(庄内交通)



鶴岡市生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）

（策定年月日）平成30年 6月25日
（協議会名称）鶴岡市地域公共交通会議

0. 生活交通確保維持改善計画の名称					
鶴岡市地域内フィーダー系統確保維持計画					
1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性					
<p>（1）目的 鶴岡市地域公共交通網形成計画及び地域協働推進事業計画に基づき、中心市街地と周辺地域とを結ぶ地域間交通ネットワークの充実や、山間地域等交通不便地内への交通アクセス向上を図るため、地域間幹線バス系統若しくは羽越本線に接続するバス路線を地域内フィーダー系統として確保維持することを目的とする。</p> <p>（2）必要性 本市は平成17年10月に1市4町1村が広域合併し、東西約43キロメートル、南北約56キロメートルの東北一の面積（1,311平方キロメートル）を有する市となり、過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域（みなし過疎市町村）の指定を受けている交通不便地域である。 本市の地域公共交通には、鉄道、路線バス、タクシーがあり、通勤、通学、通院、買い物等を主な目的とする市民生活の足として重要な役割を果たしている。しかしながら、自家用車の普及、少子化、人口減少等社会情勢の変化に伴い、公共交通の利用者は年々減少傾向にあるため、収益が悪化し公共交通の維持が困難となり、路線バスの減便や廃止が進んでいる状況にある。 一方で、高齢者や学生をはじめ自動車等の移動手段を持たない住民にとって、公共交通は安心して日常生活をおくる上で重要な役割を担っている。 また、公的医療機関、公立学校、その他公共施設、商業施設などの都市機能が集積している中心市街地への周辺部からの交通手段の確保が重要性を増している。 こうしたことから、地域特性や実情に応じた市民の日常生活にとって最適で安全な地域公共交通ネットワークを充実するためには、基軸となる地域間幹線バスや鉄道と密接なフィーダー系統の確保・維持が必要不可欠である。</p>					
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果					
（1）事業の目標					
本計画に基づき、地域公共交通ネットワークの充実について達成状況を把握するために、次のとおり目標を定める。					
項 目	平成 28 年度 H27. 10～H28. 9	平成 29 年度 H28. 10～H29. 9	平成 31 年度 H30. 10～H31. 9	平成 32 年度 H31. 10～H32. 9	平成 33 年度 H32. 10～H33. 9
利用者数	213, 113 人	255, 957 人	270, 000 人	284, 700 人	299, 400 人
※対象：地域内フィーダー系統路線バス（14 路線）					

目標設定の積算根拠

○人口減少による利用減（△2,800人）

人口減少率約1.1%による利用者減 $255,957 \text{人} \times 1.1\% = \underline{2,815 \text{人}}$

※過去3年の平均人口減少率=1.1%

○利用促進事業による利用者の増

◇高校生の利用増（+9,900人）

雨天時：市内高校生の1%をバス利用誘導（H30.2.15～学生100円バス制度導入）

$4,685 \text{人} \times 1\% \times 2 \text{回} \times 5 \text{日} \times 4 \text{週} \times 9 \text{月} \times 59\% = \underline{9,950 \text{人}}$

※平成29年度市内高校生徒数=4,685人（私立スクールバス利用者を除く）

※年間の降雨（雪）日数=216日/365日（59%） 気象庁データ（H29年度）

H29通学手段調べでは、高校生のバス通学は全体の約5.3%→3年後8%

週5日（往復）利用、長期休暇3カ月は除く。

◇70歳以上高齢者の利用増（+7,600人）

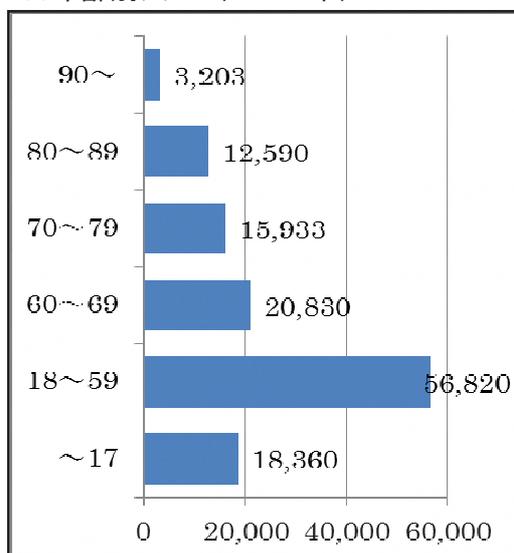
70歳以上高齢者の1%をバス利用誘導（H30.4.1～定期バス購入補助制度拡充）

$31,726 \text{人} \times 1\% \times 2 \text{回} \times 1 \text{日} \times 12 \text{月} = \underline{7,614 \text{人}}$

※平成30年3月末70歳以上人口=31,726人（住民基本台帳人口）

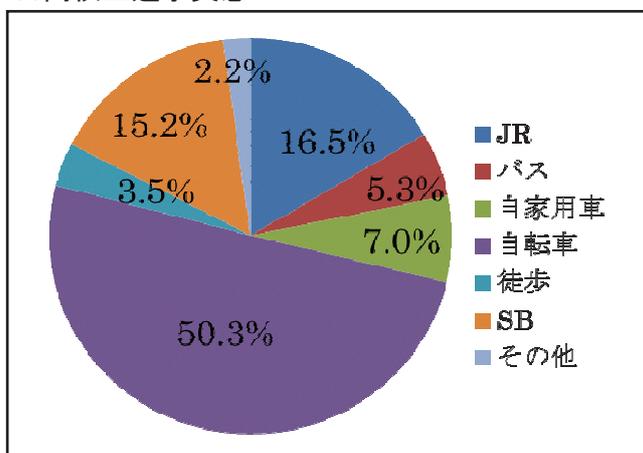
月1日（往復）の通院・買い物利用。

★年齢別人口（H30.3末）



（住民基本台帳より）

★高校生通学実態



（地区高等学校等通学手段調べ（H29））

（2）事業の効果

地域内フィーダー系統路線バスを維持・充実することにより、鶴岡市（対象人口129,652人）の高齢者等の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。

また、地域間幹線系統路線バスやJRとの公共交通ネットワークが充実することで、中心市街地と周辺地域を結ぶ効率的な運行体系が実現できる。

ひいては、市民や観光客などのまち歩き、おでかけ機会の促進により、地域活性化も期待できる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

本市の地域特性に合った地域公共交通の確保・維持・改善をめざし、その取り組みを効果的に推進していくために、地域や交通事業者及び行政などが一体となって、通院や通学など市民生活の移動手段を共に考え、関係者の協働による地域公共交通の利用促進、公共交通サービスの情報提供や利便性の向上を図る。

(事業の概要)

- 公共交通ネットワークについて、地域や交通事業者及び行政など地域ぐるみで検討し、利便性の高い交通網の再編実施と運賃割引制度の拡充により利用拡大を図る。
【実施主体：住民・鶴岡市・交通事業者】
- 公共交通をより分かりやすく利用できるように、地域版路線バス時刻表や運賃の割引サービスの周知用チラシの配布をはじめ、地域公共交通の情報を広報紙やホームページなどで分かりやすく発信する。【実施主体：鶴岡市・交通事業者】
- 温泉施設へのバスの乗入れやポイントカードによるサービス等、公共施設をはじめ観光、商業施設との連携により、公共交通による地域活性化を図る。【実施主体：鶴岡市・交通事業者】
- モビリティ・マネジメントの実施により、公共交通に対する市民意識の醸成を図ることで利用者の増加をめざす。【実施主体：鶴岡市・交通事業者】
- 地域公共交通シンポジウムの開催をはじめ地域単位の交通懇談会の開催により、公共交通を取り巻く現状と課題を共有すると共に、マイバス意識の醸成を図り、身近な移動手段の維持、確保、改善に向けた取り組みを地域ぐるみで実施する。【実施主体：住民・鶴岡市・交通事業者】

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付。

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者

鶴岡市から運行事業者への補助金額は、次の通り負担することとしている。

旧 04 条路線…運行収入および国庫補助金を運行経費から差し引いた差額

旧 21 条路線…運行収入および国庫補助金を運行経費から差し引いた差額又は実車走行
キロ数に市が定める単価を乗じて得た額のいずれか低い額の合計額

6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

庄内交通株式会社

7. 外客来訪促進計画との整合性

※該当なし

8. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」を添付。

9. 車両の取得に係る目的・必要性

補助対象事業者においては、地域間幹線系統の運行に係る車両について、保守点検を重ねて使用しているところではあるが、車齢が20年を超える車両も15台運行している状況から、安全性の確保と費用効率化の面から適切な車両の更新が必要となっている。

10. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

フィーダー系統にて運行している老朽化した車両の更新を行い新たな車両を導入することで、利用者の安全性と快適性が高まるとともに、事業者における修繕と購入に係る費用負担のバランスをとる。

平成29年度から平成31年度の3年間で、2台ずつ計6台の車両更新を行う。

(2) 事業の効果

新たな車両を導入することで、安全性と快適性が高まるとともに、修繕と購入に係る費用負担のバランスをとることができる。

また、超低床型車両（ノンステップバス）を導入することにより、沿線地域の高齢者や交通弱者の移動の足が確保され、地域住民の活動の更なる活性化が期待できる。

○車両更新による効果（△1,592,248円）

①燃料費（△1,101,029円）

NO	路線名	走行キロ	燃費		単価※	燃料概算		年間削減額
		H29実績	旧車	新車		旧車	新車	
1	鶴岡(湯田川)越沢線	75,883.6	3.85	6.30	133.20	2,625,375	1,604,396	△1,020,979
2	鶴岡(小真木)机線	11,906.4	4.78	6.30	133.20	331,785	281,735	△80,050

※燃料単価は、資源エネルギー庁統計データ H30.6.11山形県単価

②車両修繕費（△491,219円）

NO	路線名	修繕費（H29年度）		修繕費年間削減額
		旧車	新車	
1	鶴岡(湯田川)越沢線	380,421	179,900	△200,521
2	鶴岡(小真木)机線	470,598	179,900	△290,698

11. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する経費負担者

【取得計画】平成29年度からの3年間で、2台ずつ計6台の車両更新

【事業者名】庄内交通株式会社

【取得総額】114,540,000円（H29年度～H31年度）

【市負担額】22,500,000円（H29年度～H35年度）※鶴岡市車両減価償却費等補助金

12. 協議会の開催状況と主な議論

【平成29年度】

○平成29年6月27日 第1回鶴岡市地域公共交通会議

- ・鶴岡市生活交通ネットワーク計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）について
- ・高齢者や高校生が利用しやすい交通環境づくりについて

○平成29年8月21日 第2回鶴岡市地域公共交通会議

- ・鶴岡市生活交通ネットワーク計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）について
- ・鶴岡市自家用有償旅客運送の更新登録申請及び経路変更について

○平成30年1月11日 第3回鶴岡市地域公共交通会議（書面協議）

- ・学生100円バス運賃設定について

○平成30年2月23日 第4回鶴岡市地域公共交通会議

- ・高齢者等の外出支援並びに運転免許証自主返納支援について
- ・市営バス使用料の免除及び減免について
- ・温海地域路線バスの運行回数変更・運行路線の一部廃止について
- ・羽黒地域市営バスの経路変更等について
- ・櫛引地域市営バスの運行計画の変更について

【平成 30 年度】

○平成 30 年 6 月 25 日 第 1 回鶴岡市地域公共交通会議

- ・鶴岡市生活交通ネットワーク計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）について
- ・路線バス利用促進、啓発事業について

13. 利用者等の意見の反映

地域公共交通総合連携計画策定時（平成 22 年度）及び地域公共交通網形成計画策定時（平成 27 年度）に実施した市民アンケート調査、地域単位の交通座談会等により市民の意見収集を図ったほか、本計画について、住民代表を含む法定協議会で協議を行っており、住民の意見を十分に反映している。

また、平成 29 年度においては、特定の地域における地域公共交通のあり方や各種施策を検討するための基礎データとして、日常生活の移動実態や利用者ニーズ等を把握するためのアンケート調査を実施している。

さらに、定期的な利用実態調査の実施や、市民、地域、交通事業者、関係機関などの意見を伺う機会を設けることで利用者等の意見を反映することとしている。

14. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	山形県庄内総合支庁総務課連携支援室
関係市町村	鶴岡市
交通事業者等	庄内交通（株） （一社）山形県バス協会 （一社）山形県ハイヤー協会 （一社）山形県ハイヤー協会鶴岡支部
交通施設管理者	酒田河川国道事務所 鶴岡警察署 山形県庄内総合支庁道路計画課
地方運輸局	東北運輸局山形運輸支局
その他協議会が必要とすると認める者	鶴岡市町内会連合会 鶴岡市自治振興会連絡協議会 鶴岡商工会議所 鶴岡老人クラブ連合会 鶴岡市身体障害者福祉団体連合会 藤島町内会長連絡協議会 羽黒区長会 楡引区長会 朝日地域自治会連絡協議会 温海地域自治会長会 山形県交通運輸産業労働組合協議会

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）山形県鶴岡市馬場町 9 番 25 号

（所 属）鶴岡市企画部地域振興課

（氏 名）芳賀 俊郎

（電 話）0235-25-2111（代表） 内線 587

（e-mail）chiikishinko@city.tsuruoka.lg.jp

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

31年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	再 編 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地	終点					運行態様の 別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策	基準二で該 当する要件 (別表7のみ)
山形県 鶴岡市	庄内交通株式会社	(1) 温海戸沢線	温海営業所	五十川駅前	強竜寺	往 20.9 km 復 20.9 km	244 日	1,952 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネット ワーク羽越本線あつ み温泉駅と接続	③
		(2) 温海平沢線	温海営業所	鼠ヶ関駅前	平沢	往 23.8 km 復 23.8 km	364 日	3,266 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネット ワーク羽越本線あつ み温泉駅と接続	③
		(3) 温海関川線	温海営業所	温寿荘前・小園	関川	往 26.8 km 復 km	364 日	3,437 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネット ワーク羽越本線あつ み温泉駅と接続	③
		(4) 温海越沢線	温海営業所	温寿荘前・小園	越沢	往 23.0 km 復 23.0 km	364 日	1,042 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネット ワーク羽越本線あつ み温泉駅と接続	③
		(5) 鶴岡大鳥線	エスマール	山添	西大鳥	往 39.1 km 復 39.2 km	244 日	488 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネット ワーク羽越本線あつ み温泉駅と接続	③
		(6) 鶴岡上田沢線	エスマール	山添	上田沢	往 30.4 km 復 km	244 日	244 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネット ワーク羽越本線あつ み温泉駅と接続	③
		(7) 鶴岡田麦俣線	エスマール・ 中央高校	山添	田麦俣	往 30.6 km 復 32.2 km	244 日	732 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネット ワーク羽越本線あつ み温泉駅と接続	③
		(8) 鶴岡松根線	エスマール	くしびき温泉 ゆ～town	上松根	往 19.2 km 復 19.3 km	244 日	1,952 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネット ワーク羽越本線あつ み温泉駅と接続	③
		(9) 鶴岡(小真木)机線	エスマール	小真木	机	往 12.2 km 復 12.0 km	244 日	976 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネット ワーク羽越本線あつ み温泉駅と接続	③
		(10) 鶴岡(三中前)机線	エスマール	三中前	机	往 14.7 km 復 14.5 km	244 日	732 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネット ワーク羽越本線あつ み温泉駅と接続	③
		(11) 鶴岡(ゆぼか)羽黒随神門線	エスマール	ゆぼか	羽黒随神門	往 17.8 km 復 17.5 km	362 日	1,866 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネット ワーク羽越本線あつ み温泉駅と接続	③
		(12-1) 鶴岡(湯田川)越沢	エスマール・ 中央高校	湯田川温泉	越沢	往 34.3 km 復 35.4 km	365 日	1,939 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネット ワーク羽越本線あつ み温泉駅と接続	③

		(12-2) 鶴岡(湯田川)越沢	こころの健康センター	湯田川温泉	越沢	往 37.6 km 復 km	244 日	244 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネットワーク羽越本線あつみ温泉駅と接続	③
		(13) 鶴岡(物産館)温海線	エスモール中央高校	庄内観光物産館	温海営業所	往 41.0 km 復 41.5 km	365 日	3,154 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネットワーク羽越本線あつみ温泉駅と接続	③
		(14) 鶴岡(モール)清川線	外内島	エスモール	清川八郎記念館	往 29.0 km 復 29.1 km	244 日	1,464 回		路線定期運行	②(1)	地域間交通ネットワーク羽越本線あつみ温泉駅と接続	③

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市区町村名	鶴岡市
-------	-----

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	71,612
交通不便地域	129,652

交通不便地域の内訳

人口	対象地区	根拠法
129,652	鶴岡市全域	過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域

国庫補助上限額の算定

対象人口	算定式	国庫補助上限額
129,652	129,652人 × 120円 × 1.0 + 2,000千円	17,558,240

(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
※なお、実施要領等で別に定める場合は、それによること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域」の欄は、過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域（過疎地域とみなされる市町村、過疎とみなされる区域を含む。）、離島振興法に基づく離島振興対策実施地域、半島振興法に基づく半島振興対策実施地域、山村振興法に基づく振興山村に該当する地域の人口及び実施要領(2. (1)⑭)に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口の合計(重複する場合を除く)を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が上記3. に掲げる法律(根拠法)に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。

(2) 添付書類

1. 人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分が分かる地図
(ただし、全域が交通不便地域となる場合には省略可)

基本方針（目指す将来像）		「人」「文化」がいきいきと交流し、市民とともに支える「持続可能な交通」の実現 ～将来の「鶴岡市」のあり方を見据え、コンパクト+ネットワークを形成～													
基本目標	目標を達成するための施策		実施計画（年度）					H29 実施状況	H30 取組み予定	実施主体					
	プロジェクト	具体的な施策	28	29	30	31	32								
<p>■基本目標 1 市民のお出かけを支える、「持続可能な」公共交通体系を確保します</p> <p>■基本目標 2 将来のまちの姿を見据え、「まちづくり」を支援する公共交通を目指します</p> <p>■基本目標 3 「人」「文化」の交流を支援する交通ネットワークを形成します</p>	Project1 交流活性化プロジェクト	施策 1-1：既存路線の見直しによる再編	計画準備						<ul style="list-style-type: none"> ○朝日交通再編フォローアップ ・かたくり温泉ぼんぼへの経路延長（H29.10～） ○国県補助路線の生産性向上に向けた取組 ○低利用路線等の効率化の検討（温海川線等） （継）地域内フィーダー確保維持改善事業による路線維持（16 路線・国交付額 23,493 千円） （継）路線維持補助金の交付（33 路線・市補助金 140,990 千円） 	<ul style="list-style-type: none"> ○路線バスの経路見直しを検討 ・北部サイエンスパーク、市内循環線等 ○朝日交通再編フォローアップ ・土日増便検討、実施 （継）地域内フィーダー確保維持改善事業による路線維持（16 路線・国交付予定額 実績交付） （継）路線維持補助金の交付 	協議会 市 事業者				
		施策 1-2：新たな公共交通システムの導入			再編							継続	<ul style="list-style-type: none"> ○出羽三山直行観光目的バスの運行支援 ・羽黒山・湯殿山「しゃとるバス」の運行（6/1～11/3 土日祝運行） ○藤島交通空白地区のデマンド交通導入検討支援 ・長沼・八栄島地区アンケート調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○出羽三山直行観光目的バスの運行支援 ・羽黒山・湯殿山「しゃとるバス」6/1～11/3 土日祝及び一部夏季期間実施 （継）藤島交通空白地区のデマンド交通導入検討支援 ・長沼・八栄島地区における地域の足のあり方検討 	協議会 市 事業者 観光協
		施策 1-3：既存交通資源を活用した再編			実験							導入			
	施策 1-4：交通結節機能の充実	検討調整								<ul style="list-style-type: none"> ○空港、JR、高速バスとの接続改善の検討・実施 ・高速バスとの接続改善（庄内観光物産館経由） （継）朝日大網地区の「小さな拠点づくり」による地域内運行の社会実験の実施 （H29.4～H30.3 14 回 60 人） 	<ul style="list-style-type: none"> （継）公共交通網のネットワーク性の向上 ・空路、鉄道、高速バス、観光目的バス等との接続改善に向けた調整 （継）朝日大網地区の「小さな拠点づくり」による地域内運行の社会実験の継続 	協議会 市 事業者 地域			
	施策 1-5：運賃等の料金制度の見直し			協議調整										<ul style="list-style-type: none"> ○羽黒・朝日地域市営バスの使用料見直し実施 ・100 円単位で 500 円上限、回数券導入 ○路線バス特別乗車券の販売（観光客・市民向け） ・庄交一日乗り放題券、学生 100 円バス ○高齢者等タクシー 1 割引サービスの開始 ○市営バス免除規定の改正の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者（免許返納者）外出支援の開始、販売促進 ○市営バス免除規定の改正 ・割引定期等購入者全額免除、身障者等免除規定統一 ○高校生等の通学費負担軽減の検討 （継）各種路線バス・タクシー運賃サービス実施
■基本目標 4 市民とともに考え、築き、育む、「協働型」の公共交通を目指します	Project2 市民協働プロジェクト	施策 2-1：地域主体の交通サービス導入	地域と協議	調整・準備					<ul style="list-style-type: none"> ○朝日地域市営バス利用拡大協議会設立 （継）羽黒地域市営バス利用拡大協議会取組支援 ・運行経路見直し検討（十文字・高寺） （利用者 1,847 人・対前年 9%増） （継）地域主体の交通システムの運行支援 ・藤島東栄デマンド交通（高校生通学利用促進） （補助金 2,971 千円・利用者 2,047 人/対前年 6%増） ・西郷ボランティア輸送活動 （補助金 490 千円・利用者 952 人/対前年 0.8%増） 	<ul style="list-style-type: none"> （継）羽黒地域市営バス利用拡大協議会取組支援 ・運行経路見直しによる利用拡大の取組 （継）朝日地域市営バス利用推進協議会取組支援 ・利用拡大の取組み検討 （継）地域主体の交通システムの運行支援 ・藤島東栄デマンド交通（高校生通学利用促進） ・西郷ボランティア輸送活動 	協議会 市 地域				

基本目標	目標を達成するための施策		実施計画（年度）					H29 実施状況	H30 取組み予定	実施主体
	プロジェクト	具体的な施策	28	29	30	31	32			
■基本目標5 誰もが「わかりやすく・利用しやすい」交通環境づくりを行います	また、商業施設・商店街・企業等と連携し、公共交通のPR・周知や利用促進に取り組み、利便性の向上及び新たな需要の取り込みを図ります。	施策2-2：多様な機関と連携したサービス展開	検討	展開			継続	○イオンモール三川無料送迎バスとの接続改善 (継) 羽黒市営バス利用ポイントサービスの景品にゆぽかと提携し「無料入湯券」を提供 (20P:64人)	○高齢者等外出支援利用拡大の取組み(庄交コーポレーション全社員営業活動の展開) (継) 羽黒市営バス利用ポイントサービスの景品にゆぽかと提携し「無料入湯券」	市 地域 事業者 企業
		施策2-3：公共交通について議論する場の創出		協議会開催					(継) 各地域における公共交通懇談会等の開催 ・藤島、羽黒、櫛引、朝日、温海	○路線バス経路変更に関する住民懇談会(仮) (継) 各地域における公共交通懇談会等の開催
	Project3 環境改善・利用促進プロジェクト	施策3-1：交通環境の改善	段階的改善					○地域内フィーダー確保維持改善事業による低床車両整備(2台) (減価償却補助:国交付額2台分2,964千円) ○朝日地域市営バス車両購入(10人乗り1台) (継) 小学生バスの絵コンテスト作品ラッピングバスの運行	(継) 地域内フィーダー確保維持改善事業による低床車両整備(2台) (減価償却補助:国交付額4台分5,928千円) ○羽黒地域市営バス車両購入(14人乗り1台) (継) 小学生バスの絵コンテスト作品ラッピングバスの運行	協議会 市 事業者
また、公共交通に対する市民意識の醸成により、公共交通の利用促進を図ります。	施策3-2：交通案内の改善・充実	段階的改善					○JRバス時刻表の新規作成 ○仙台北空港線、大阪USJ線、東京ディズニーランドチラシ作成 ○観光ぐるっと(羽黒山・湯殿山)バス案内作成 ○各種路線バス、タクシー割引サービスチラシ作成 (継) バス時刻表、目的別・地域別バス時刻表の作成配布	○路線バス案内ボード設置(鶴岡駅) (継) バス時刻表、目的別・地域別バス時刻表、各種サービス案内の充実(HP、チラシ等)	協議会 市 事業者	
	施策3-3：公共交通に対する市民意識の醸成	庁内 事業者 等協議	MM			継続	(継) モビリティマネジメントの実施 ・小学生バスの絵コンテスト 26校・385点 ・中学生利用促進ポスターコンテスト 2校・3点 ・バスの乗り方教室 7団体443人 ・お試し体験乗車 1団体17人 (継) 加茂水族館、庄内観光物産館パークアンドライド周知 (継) 月山シャトルバス社会実験運行	(継) モビリティマネジメントの実施 ・小学生バスの絵コンテストの開催 ・バスの乗り方教室、お試し体験乗車 (継) 加茂水族館、庄内観光物産館パークアンドライド周知 (継) 月山シャトルバス社会実験運行	協議会 県 市 事業者 観光協 施設	

平成 29 年度の地域別取組と評価・平成 30 年度の課題と取組

項目	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
1. 会議等開催状況(年月日)	<p>◆東栄地区デマンド交通 4月28日 ・藤島東栄地区デマンド交通運営協議会 運行委員会・役員会・総会 2月10日 ・第2回藤島東栄地区デマンド交通運営協議会理事会</p> <p>◆長沼・八栄島地区 ・各地区自治振興会との協議 (長沼4/27 八栄島4/25) 地域の足の実態調査(アンケート)について 地域の公共交通の進め方について</p>	<p>○H29.4.27 羽黒地域市営バス利用拡大協議会第1回役員会 ○H29.6.27 第1回羽黒地域市営バス利用拡大協議会 ○H29.11.24 羽黒地域市営バス利用拡大協議会第2回役員会 ○H30.2.6 羽黒地域市営バス利用拡大協議会第3回役員会 ○H30.2.21 第2回羽黒地域市営バス利用拡大協議会</p>	<p>○11月22日 櫛引区長会役員会(スクールバス住民混乗利用便の減便について協議) ○12月1日 櫛引区長会全体会(スクールバス住民混乗利用便減便の協議、県ハイヤー協会鶴岡支部及び庄内交通の新たな割引サービス等の周知) ○2月23日 市地域公共交通活性化協議会(スクールバス住民混乗利用便の減便及び使用料減免対象拡大について協議)</p>	<p>○H29.5.2 かたくり温泉ぼんぼの交通手段確保に関する関係者打合せ ○H29.8.7 第1回朝日地域市営バス利用拡大協議会(設立準備会) ・ぼんぼへの市バス経路変更 ○H29.12.22 第2回朝日地域市営バス利用拡大協議会 ○H30.3.7 第3回朝日地域市営バス利用拡大協議会</p>	<p>○H29.11.29 温海地域公共交通検討会</p>
2. 主な取組	<p>◆東栄地区デマンド交通 ○利用促進 ・全世帯へのチラシ配布(継続) ・東栄地区地域活動センター便りへの記載(継続) ・各会合での周知(強化) ・東栄地区地域活動センター玄関への大型看板設置(新規) ○高校生利用促進事業 ・各会合における父兄などへの周知</p> <p>◆長沼・八栄島地区地域公共交通 ○アンケートによる地域の足の実態調査 調査期間:7/1~14 調査方法:町内会を通じた配布・回収 対象:高校生以上の全住民</p>	<p>① ポイントカード発行 毎月25日は「ここにこバスの日」としポイント2倍(H26.7.25から実施) ・20ポイントでの引き換え(引き換え品:ゆぼか入浴券※ゆぼかから提供 タオルセット) H28:H29年1月末まで53枚 H29:H30年1月末まで42枚 ・15ポイント以上での引き換え(引き換え品:ゴミ袋2つ) H28:H29年1月末まで14枚(ゴミ袋12 ハンドタオル2) H29: H29年1月末まで41枚 ・10ポイント以上での引き換え(ゴミ袋1つ) H29: H29年1月末まで41枚</p> <p>② 周知チラシ配布・各集落での呼びかけ 路線沿線集落全戸配布(4/28)(市)</p> <p>③利用状況の定期的なお知らせ ・2か月に1回程度、利用状況のお知らせを協議会会員へ配布。</p> <p>④ ここにこバス試乗及び改正検討路線の試走(7月15日)</p> <p>⑤ 「羽黒路線バス経路検討についてのアンケート調査」高寺・下馬渡(12月)</p>	<p>○混乗利用沿線住民へのチラシ全戸配布による周知 ○専ら住民利用のみに運行していた便の減便に向けた手続き(H30.4.7より減便) ○他地域の市営バスに合わせた利用料減免対象の拡大に向けた手続き(H30.4.1から規則改正) ※身体障害者だけでなく、精神障害者、知的障害者およびそれらの介護人も割引対象とする</p>	<p>①朝日地域公共交通再編に伴う市営バスの本格運行開始 ・10月から:一部便のぼんぼへの経路延長 ・11月から:市営バス車両の更新(10人乗りトヨタハイエース) ・1月から:冬季間の待ち合い場所の確保 ・4月から:市営バス第2便目のダイヤ変更(庁舎前12:30頃発から14:00頃発へ)</p> <p>②利用拡大のための各種調査 ・6~7月:温泉利用者や市営バス利用者へアンケート調査を実施 ・11~12月:高校生及びその保護者へアンケート調査を実施</p>	<p>①検討会 ・温海地域のバス運行状況等について報告 ・自治会長との意見交換。 ②小学生「バスの絵」コンテスト作品展示 10/27~11/3 2校66点 ③啓発宣伝チラシによる周知 ・県ハイヤー協会鶴岡支部運賃サービス ・庄内交通のお得情報のチラシを各単位老人クラブへ ・庄内交通の学生向け案内チラシ。 ④アンケート調査 ・対象者 60歳以上、高校生とその保護者 ・実施期間 H30.1.15~30.2.28</p>

項目	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
3. 取組の評価	<p>◆東栄地区デマンド交通 事務局による細やかな声掛けにより、会員が増加した。利用者数については、昨年と比較し115名(6%)増となった。 高校生の利用については、家族送迎が出来ない場合限定だが、新たな交通手段として高校生にも認知され始めてきた。</p> <p>◆長沼・八栄島地区地域公共交通 地域の足の状況調査アンケートを通じて住民自らが今後の地域の足について考える契機となった。</p>	<p>・運行実績は別紙のとおり 1月末時点でおよそ昨年度の約4%増で推移している。 2路線とも安定した利用状況となっている。</p> <p>・景品について予算増額し、拡充した。利用者にも多くポイントカードを利用していたいている。</p>	<p>ほぼ利用実績がない状態だった専ら住民利用のみのために運行していた便を減便することで、かかり増し経費を大幅に削減した。 なお、スクールバスとしても利用している便については、今後免許返納者や高齢者への支援施策の影響や団塊の世代の高齢化に伴い利用者が増加することも考えられることから、混乗利用を継続することとした。</p>	<p>昨年度短期的な課題としていた内容について改善が図られた。 ①かたくり温泉ぼんぼの運営が急きょ再開されたことに伴う、市バスを含めた公共交通の見直し⇒対応済み。 ②市営バスの利用拡大を目的とした住民組織の立ち上げ⇒対応済み。 また、公共交通利用者への詳細なアンケート調査を行い利用者の不満点を把握することができたことから、今後の利用拡大の施策に生かすことが期待される。</p>	<p>・バス路線は現状を維持できた。 ・公共交通検討会を開催し、自治会長の意見を聞くとともに、高齢者や高校生等移動手段を持たない年代を対象にアンケート調査を行い、今後のあり方について意見集約を行った。</p>
4. H30 課題	<p>◆東栄地区デマンド交通 ・19時30分便の利用促進 ・高齢者等外出支援および運転免許証の返納者支援制度空白地帯の解消 ・利用しやすい環境整備(予約方法の検討・料金、初めての利用きっかけづくりなど) ・組織体制の見直し ・利用登録者情報の修正</p> <p>◆長沼・八栄島地区地域公共交通 ・公共交通空白地域等における地域が主体となった新たな交通システムに向けた検討と取り組みの推進</p>	<p>・経路変更実施にあたる諸対応 ・利用拡大のための各種取組の検討。 ・経路についてのアンケート実施を広く行い、市営バスについての要望、需要を再度収集する。</p>	<p>公共交通空白地帯の解消及びより住民ニーズに沿った新たな地域交通システム需要の把握</p>	<p>(短期的な課題) ①市営バスの平日便の増便と平日以外の運行の検討(需要調査⇒試験運行⇒本格運行) ②市営バスの利用拡大を目的とした取組みの検討と推進(愛称募集など)</p> <p>(長期的な課題) ①デマンド方式等、地域事情にあった地域主体の移動手段の検討 ②スクールバスや診療所バス等の多様な交通手段に関する統合的な検討 ③公共交通の観光需要の調査と対応の検討</p>	<p>・利用の少ないバス路線について、4月以降廃止となった。 ・公共交通手段のない集落が増えることから、デマンド、SB混乗など新たな交通システムの検討を本格化する必要がある。</p>
5. H30 取組予定	<p>◆東栄地区デマンド交通 ・高校生本人および中学3年生に向けたPR活動 ・高齢者等支援および利用促進の検討 ・地域内および乗降場所への表示等による周知活動 ・きっかけづくりの検討(例:電話近くに設置できるボードの作成、配布など) ・規約改正 ・町内会長への照会(随時)</p> <p>◆長沼・八栄島地区地域公共交通 ・地域住民の足についての実態調査を基にした、これからの地域の足のあり方についての検討</p>	<p>(1)利用者数目標の設定 H25~27:1,350人 H28:1,500人 H29 1,600人 H30についても新たに設定する。 (2)ポイントカード制度の実施(継続) (3)利用状況の定期的な確認 2か月に1回、市から利用状況を会員全員へ通知報告する。利用状況を見ながら、目標数値に達するよう活動の検討。 (4)各種団体等への働きかけ 老人クラブ等の各種団体の事業に路線バス利用の機会を設けてもらう。 (5)乗車体験の呼びかけ 乗車体験の呼びかけを実施し、慣れ親しんでもらう事でマイバス意識の向上を図る。 (6)利用者ニーズの把握 利便性や要望等を把握のため、利用者アンケート調査。未利用者ニーズ調査。 (7)経路変更実施(6月1日予定)</p>	<p>高等教育機関や有識者の意見を参考にしながら、新たな地域公共交通システム導入に向けた検討を行う。なお、その内容については、地域まちづくり未来事業計画へ位置づけ、未来事業基金での実施も検討する。</p>	<p>○長期的な課題を検討しつつ短期的な課題の解消に向けて取り組む</p>	<p>・温海地域公共交通検討会を年2回実施 1回目:アンケートの結果報告、意見聴取 2回目:温海地域のバス運行状況等について報告。自治会長との意見交換 ・集落活性化懇談会で話題にし、その集落にあった持続可能なシステムの構築に向けて検討していく。</p>

高齢者等外出支援事業
定期券販売枚数実績
【平成30年4月～5月】

●定期券種類別 (枚)

	4月	5月	合計
ゴールドパス (70歳以上)	93	96	189
1カ月券	46	57	103
3カ月券	47	39	86
運転免許証返納 者割引定期券	5	4	9
合計	98	100	198

●地域別 (枚)

	4月	5月	合計
鶴岡地域小計	67	61	128
第一学区	6	9	15
第二学区	6	3	9
第三学区	7	6	13
第四学区	6	8	14
第五学区	6	3	9
第六学区	8	6	14
斎	2	1	3
黄金	0	0	0
湯田川	1	2	3
大泉	1	1	2
京田	0	0	0
栄	0	0	0
田川	0	1	1
上郷	1	0	1
三瀬	0	2	2
小堅	2	2	4
由良	2	4	6
加茂	9	5	14
湯野浜	7	3	10
大山	3	5	8
西郷	0	0	0
藤島地域	2	6	8
羽黒地域	7	8	15
櫛引地域	1	2	3
朝日地域	5	9	14
温海地域	16	14	30

運転免許証自主返納者向け
タクシー・バス回数券交付実績
【平成30年4月～5月】

●地域別 (人)

	4月		5月		合計	
	タクシー 券	バス券	タクシー 券	バス券	タクシー 券	バス券
鶴岡地域	37	7	33	5	70	12
藤島地域	8	1	2	0	10	1
羽黒地域	3	1	3	0	6	1
櫛引地域	8		1	0	9	0
朝日地域	0	0	0	0	0	0
温海地域	2	7	1		3	7
合計	58	16	40	5	98	21
					119	

合 計	98	100	198
-----	----	-----	-----